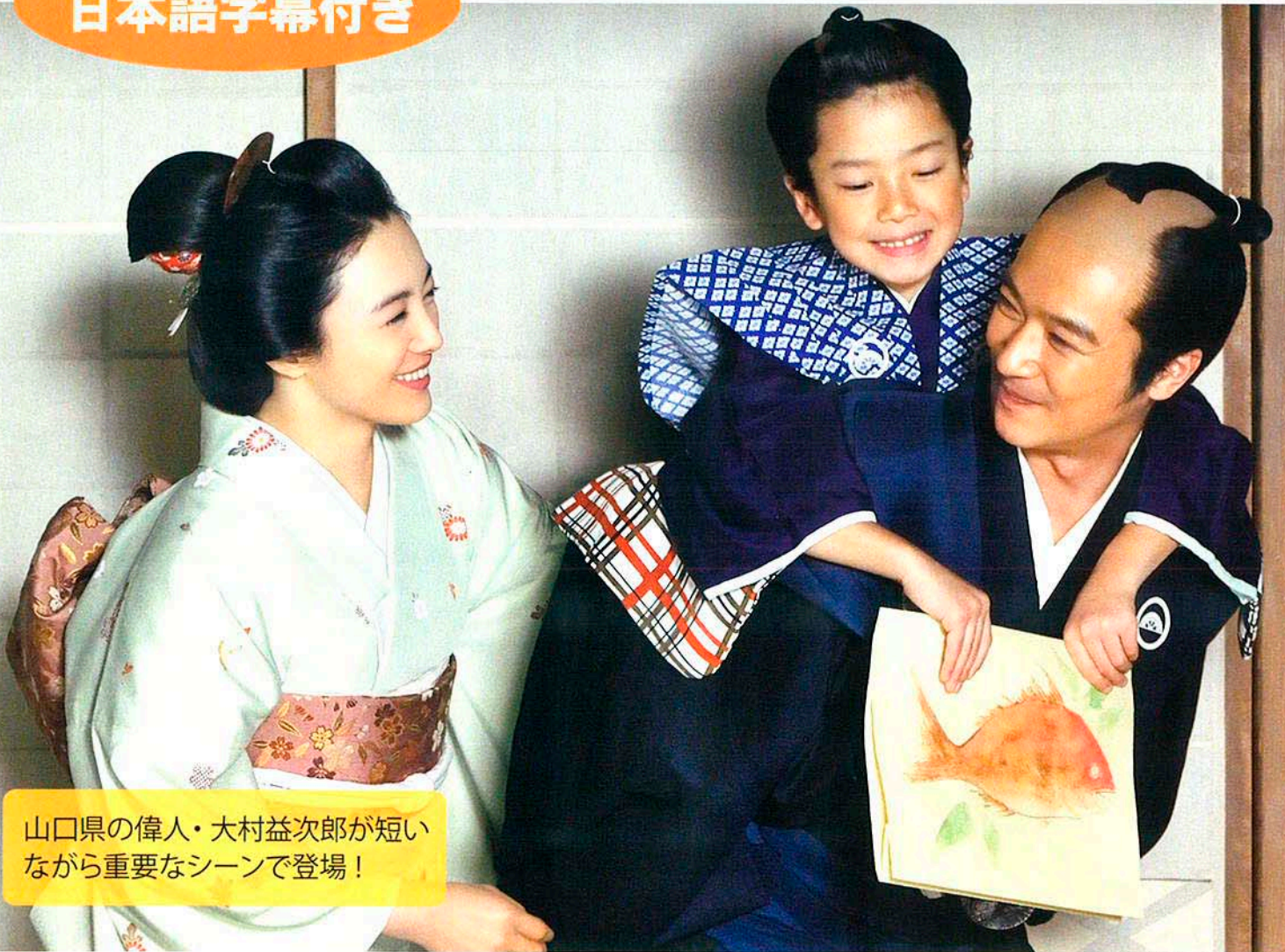


武士の家計簿

セリフが良くわかる
日本語字幕付き



山口県の偉人・大村益次郎が短いながら重要なシーンで登場!

(C) 2010「武士の家計簿」製作委員会

刀ではなく、そろばんで、一家を守った侍がいた。



出演： 堺雅人 仲間由紀恵 松坂慶子 西村雅彦 草笛光子 中村雅俊 嶋田久作

監督：森田芳光

2012年3月18日(日) ①10:00 ②14:00 ③18:00 (開場30分前)

上映時間129分
日本語字幕付き

会場 周東パストラルホール

岩国市周東町用田137-8 TEL(0827)84-1400

料金 一般前売800円(当日1000円) 高校生以下500円(当日のみ)

プレイガイド 周東パストラルホール パリユー・マルシン
玖珂町文化協会(芳本宅) 岩国市連合婦人会玖珂支部
シネマ館玖珂店 ふちだ楽器店(岩国市)
都野書店(ゆめタウン南岩国店内)

主催 『武士の家計簿』を見る会

後援 岩国市教育委員会／財団法人岩国市
周東文化振興財団／周東文化協会／
玖珂町文化協会／周東町女性団体連絡
協議会／岩国市連合婦人会玖珂支部

お問合せ 『武士の家計簿』を見る会
TEL&FAX(082)285-8165

このチラシ持参の方3名様まで
当日料金より100円
割引いたします



映画『武士の家計簿』と山口県の偉人“大村益次郎”
 劇中、主人公の息子・成之が新政府軍を指揮する大村益次郎によって軍の会計職“軍務官会計方”に任命される重要なシーンがあります。これは史実にもとづくエピソードです。大村益次郎は西洋の近代兵法を取り入れ、新政府軍を勝利に導いた維新の最功労者。出身地は現在の山口市鑄銭司です。成之は後年、靖国神社にある大村益次郎の銅像建立の際に発起人となり、自らを引き立ててくれた恩義に報いようと尽力しました。

本当の豊かさを教えてくれる、温かな感動作

幕末から明治。激動の時代を、知恵と愛で生き抜いた家族の姿が実在の『家計簿』から、今、よみがえる。

古書店で偶然発見された家計簿、それは国史研究の通念を覆す大発見となった。日々の買い物、親戚付き合ひ、子供の養育費、冠婚葬祭——。家計簿から鮮やかによみがえる、幕末に生きた下級武士一家の暮らしぶり。この家計簿をつけた武士、猪山直之が本作の主人公である。代々加賀藩の御算用者(経理係)として仕えた猪山家の跡取り息子として、家業のそろばんの腕を磨き、才能を買われて出世する。しかし、当時の武家の慣習によって出世する度に出費が増え続け、ついには家計が窮地にあることを知った直之は、ある「家計立て直し計画」を宣言する。それは、家財を売り払い、家族全員で質素節約して膨大な借金の返済に充てることだった。体面を重んじる武士の世にあつて、世間の嘲笑を浴びながらも、知恵と工夫で日々の暮らしを



前向きに乗り越えようとする猪山家の人々。見栄や世間体を捨てても直之が守りたかったもの、そして息子・成之に伝えようとした思いとは——。本作は激動の時代を世間体や時流に惑わされることなく、つましくも堅実に生きた猪山家三世代にわたる親子の絆と家族愛を描いた物語である。

先行き不透明な現代を生きるヒントをくれる、時代を誠実に生き抜く姿。

物語の背景となる幕末から明治は、世の中の秩序や価値観が大きく変化した時代。歴史上に名を残す英雄が活躍する一方で、これまで表舞台に立つことのなかった人々は、日本の大変革期を一体どう生きたのか？猪山家の生き方は、金融破綻、地価下落、リストラ、家族の断絶や孤独死など、様々な社会問題に直面している私たちに、今を生き抜くためのヒントを教えてくれるだろう。



武士の家計簿